

C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2015
ひがし
チャーター 2004. 4. 25
No.130

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPAINES EVERY RIGHT

第1例会 第1月曜 熊本テルサ(19:00~21:30)

第2例会 第3土曜 ながみねY M C A (17:00~19:00)

| | | | |
|--------|--------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 国際会長 | 主題 「言葉より行動を」 | 標語「今すぐやろう!」 | アイザック パラシンカル (インド) |
| アジア会長 | 主題 「未来を始めよう、今すぐに」 | 標語「ひとつのアジア、世界はひとつ」 | 岡野 泰和 (大阪土佐堀) |
| 西日本区理事 | 主題 「響き合い、ともに歩む」 | | |
| 九州部部長 | 主題 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」 | —こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく— | 松本 武彦 (大阪西) 亀浦 正行 (熊本にし) |

熊本ひがしクラブ

第11代会長 横田 博

会長主題:「美しく生きる」

スローガン:「マイペースで輝こう」



むさし・吉岡会長
ひがし・横田会長
にし・中西会長
スピリット・紫垣会長

2月 強調月間

Time of Fast
(断食のとき)

Community Service
(地域奉仕)

Family Fast
(家庭での断食)

（平山美保）

時に途方に暮れ、涙し、自分の意志でなく起ることに理由不尽と思う。しかし、神さまは必ず「あなたと共にいる」のです。そのことを伝えるために、クリスマスにイエスさまを送つてくださいました。どんなときでも、決して一人ではない、「助けは来る」と信じて歩いていきたい。

わたしたちの人生には、試練があります。
(詩編 12:1 編)

あなたの出で立つのも帰るのも主が見守つてくださるように。今も、そしてどこしえにあなたを見守つてください。

あなたがすべての災いを遠ざけてあなたを見守りください。あなたが見守つてくださるように。あなたが見守つてくださるよう。あなたが見守つてくださるよう。

天地を造られた主のもとから。主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守りください。あなたが見守つてくださるよう。

今月の聖句

| | | | | | |
|----------|--------------------------|-------------------------|---------|----------|--|
| 1月例会出席記録 | 在籍会員数 25名 例会出席率 72.0% | 第1例会 17名 ネット、コメット 7名 | 第2例会 8名 | マイカップ 1名 | |
|----------|--------------------------|-------------------------|---------|----------|--|

会長通信



ワイズ理解が得られるために

会長 横田 博

1月第二例会でEMCについての意見交換を行いました。東ワイズ（12月）、片山ワイズ（1月）と入会者が相次いでおられ、熊本ひがしクラブは今期3名の入会者を迎えるが、この意見交換のなかで、YMCAのない地域にワイズメンズクラブを理解してもらったり、入会を誘うことはなかなか難しいということでした。

この度、益城町（体育施設）の指定管理を熊本YMCAが得ました。スタッフ、レイパー・ソーンの協力のおかげで、ながみねファミリー運営委員会の思いが形になってあらわれたとも言えます。そして益城町でYMCAサッカー（3月）、九州部チャリティ駅伝のプログラム（4月）を予定しています。ワイズメンズクラブが出かけていく場が増えたと思います。

また、今年も防災プログラムを3月29日（日）に開催します。みんなが安心して暮らせる町を作ろうと願う「ながみね&ひがし」発の、このフェアは2011年に第1回を開催して以来、YMCAだけでなく、地域にとっても重要なプログラムになってきたと思います。皆さんの方と思いを合わせることで、YMCA、ひがしクラブ、そして地域が一体となり、このプログラムをこれからも成長させていきたいものです。そのことによって、わたしたち自身も成長を続けることができると思います。昨年参加されていた子ども会のお母さんが「ワイズメンズクラブって何ですか？」と質問されました。地域自治会の方や、他団体の方と緊密に接することができ、目的を一にする貴重な場でもあります。ご協力をお願い致します。

意見交換の最後は、「要は（クラブの）、なかにいる人間の魅力」ということでした。そのためには自分が育つ、育ち合う場でなければなりません。今のままで止まっている、安住しないことだと思います。支え合っていきましょう。より良い地域社会を、それぞれの場で作っていくために。

考 EMC

クラブのEMCと活性化を考える

まだまだ寒い日が続いますが、皆様体調はいかがでしょうか。私は加湿、うがい、手洗いで今のところ大丈夫です。

さて、EMCについて、まずは私がひがしクラブに入ったときから。

ある時、保険を見直すときに私のメネットが紹介し、お願いしたのが岩本悟（熊本にしクラブ 当時は熊本ひがしクラブ在籍）ワイズでした。そして契約時の会話のついでに、例会にビジターで来てみませんか、と自然に誘われました。

例会では、初めてお会いするワイズメンの皆さんにたくさん話しかけられ、楽しく過ごし、さらに第二例会までお説明されました。その事務例会の後の二次会で入会が決まりました。

クラブに入るまでは、ボランティア活動についてはよく分かっていませんでした。ですが私の場合、内勤なので外の交流がありません。そこで、まず異業種の方々と交流したいというのが目的になりました。

その上で、最初の例会でとても楽しく過ごせたのが決定打でした。それ以降、決して飲み目的ではありませんが、例会はいつも楽しいものとして参加しています。

そして先輩ワイズメンのいつも前向きな発言、行動力に常に刺激されました。数年後に6代目の会長という、貴重な体験をさせて頂き、色々学ぶ事ができました。活動は参加すればするほど楽しくなると言うことが分かりました。

まとめると、EMCとしてはビジターで来てもらえば8割は成功だと思います。では来てもらうためには、ワイズメンズクラブが何を目標にどんな活動をしているか。そこに参加することでどんなメリット、または自分もしくは周囲にどんな変化が起るのか、その魅力を理解しわかりやすく説明することで、ビジターをお説明することができるのではないかでしょうか。

そして、クラブの本質は事務例会にあります。こちらにも是非多くのメンに参加して頂くことで、クラブはもっと活性化すると思います。

（6代会長 白木尚登）



白木ワイズ入会式 2005年7月
S Pの岩本悟ワイズ（左）と

理事通信

2015年2月号
2月1日発行



主題：「響き合い、ともに歩む」

“Walk Together, Echoing Each Other”

西日本区理事 松本 武彦



大阪城の梅林

— こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

新年1月、区内各地で、新年祝会が例会を兼ねてもしくは例会とは別に、単独もしくは部合同などの合同形式で開催されています。新年祝会において、ワイズの仲間たちは、笑顔を浮かべて新年を寿ぐ言葉を交わし、食事を楽しみ、プログラムを楽しむことで、気持ちを新しくし、新しい年の活動を力強くスタートする機会を得ています。人が集う場において、音楽のあることは集う人々のこころを豊かにします。私が所属する中西部の合同新年祝会では、アメリカ南部で誕生し日本にも入ってきた「ブルーグラス音楽」が結成40周年を超えるメンバー全員が還暦前後と言う“おじさんバンド”、シャギー・マウンテン・ボーイズのみなさまで演奏されるプログラムがあり、会場全員で合唱する場面もあって、大いなる喜びと力を得ることができました。大阪湾南港のホテル・ハイアットリージェンシー大阪で6月に開催する第18回西日本区大会においても、楽しくてこころ温まる音楽演奏の場があり、加えて、ハワイアンダンスと一緒に楽しむ場面も予定しています。

私は、理事主題として「響き合い、ともに歩む」を掲げています。ワイズ活動においては、それぞれのクラブが自身の活動プログラムをもってYMC Aや地域社会・国際社会への奉仕活動を進めますが、その活動が、1クラブや1個人だけの働きで進められるのではなく、この活動に周りの仲間が呼応し響き合うことで大きな力が生まれ、力強い奉仕活動となってゆきます。このようなことから、ワイズ活動において「会員交流」のプログラムがあること、特に、年齢の若い会員やワイズ歴の浅い会員同士のクラブを超えての交流があることも大切なことかと思います。彼らの視野を大きく広げる機会、ワイズ活動の楽しさを身近に知る機会が生まれるように思うからであります。このような会員交流について嬉しいニュースがあります。中西部において、昨年度、若手会員の集い、通称「わかつてんの会」が立ち上げられ、頻繁に会合が開かれていますが、この若手会員の集いが、京都部の若手会員も交えた形で、京都でも開かれました。つまり、中西部の「わかつてんの会」の活気が京都部の若手会員を交えた集まりにも及ぶ心強い動きが出てきたのであります。

理事通信12月号では、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されたことを伝えましたが、本年1月15日発行の朝日新聞・大阪堺泉州版においても、我々の仲間、大阪泉北クラブのメンバーである猪瀬正雄さんの切り絵創作家としての大震災被災地支援の働きが報道されています。猪瀬さんは、阪神・淡路大震災が起きた20年前、「神戸・異人館」の切り絵を印刷した絵はがきを販売してその収益を被災者支援に役立てられたのですが、現在、東日本大震災復興支援のための活動をする中で20年前のことを思い出し、当時の切り絵の絵はがきを復刻、被災者の姿を描いた作品も加えて4点1セット400円で販売し収益を東日本大震災被災支援に充てることにしたとの報道であります。

◇ 周年記念例会情報 (2015年1月30日現在)

- ・鹿児島 25周年 2015年2月14日(土) ジェイドガーデンパレス 2階
- ・神戸メネット 50周年 2015年3月14日(土) 神戸外国俱楽部 (14:00-16:00)
- ・京都トップス 20周年 2015年4月5日(日) ウエスティン都ホテル京都
- ・東広島 20周年 2015年4月25日(土) 広島YMCA国際・文化ホール
[日程が変更になりました]
- ・京都エイブル 25周年 2015年5月16日(土) 京都ホテルオーネックラ
- ・岡山 50周年 2015年5月23日(土) 岡山国際交流センター
(13:00-17:00)

2月強調月間 TOF CS FF

身近なボランティア、献金にご協力をお願いいたします！！
CS(地域奉仕)クラブ、及び部で資金的に困難な事業を応援する為に使われます。今年の献金が次年度のCS事業資金の原資となります。

目標：1500円/1人

TOF(断食の時)世界の飢餓に苦しむ人々のことを考え、クラブ例会の食事を抜いて、その金額をその年度の支援目標に贈るために、ワイズが全世界で展開しているプログラムです。

目標：1400円/1人

FF(家族での断食)日本やアジアで厳しい状況に置かれた子供たちの健全育成のために使われます。家族での1食分を断食することで困難にある人々に思いを寄せましょう。

目標：800円/1人

地域奉仕・環境事業主任 渡壁十郎(長浜クラブ)

第18回西日本区大会

～明日につなぐ基盤～

「交・響・楽」

熊本地区7クラブ 新春合同例会報告

2015年 新春合同例会 に参加して

1月9日（金）に新春合同例会がニュースカイホテルにて、「熊本のワイズが、ひとつになるために」というテーマのもとに、熊本むさし、熊本みなみ、阿蘇、熊本にし、熊本ヤング、熊本スピリットとホストクラブの熊本ひがしきラブ、ビジターとしてジェーンズクラブ、八代クラブ、鹿児島クラブ、ビジター参加…総勢100名以上の方々に出席を頂き盛大に開催されました。

総合司会は、九州部EMC事業主査の宮崎ワイズと九州部国際交流事業主査の守田麻里ワイズが行い、開会点鐘は熊本みなみクラブ・寺田会長、会長挨拶では代表として阿蘇クラブ・松村会長にそれぞれ行って頂きました。九州部として亀浦九州部部長にご挨拶を頂きまして、皆様のご挨拶に共通するワードはやはりテーマでもあります「熊本のワイズが、ひとつになるために」という言葉でした。それぞれに頂きましたご挨拶をまとめますと「ひとりひとりがワイズメンズクラブの存在意義、役割、目的…を各々が考え、それを皆で共有することにより団結が生まれ、ひとつひとつの行事やボランティア活動が開催でき成功に導くことが出来る！」ということではないかと、参加した馬場が勝手な解釈を致しております。

その後入会式が行われ、熊本ひがしきラブに片山隆さん、熊本にしきラブに今田美貴子さん、宮村陶太さんが入会されました。おめでとうございます。

次に、卓話の時間ということで横田会長のお友達でもある、洋菓子店のア・ラモートの新本社長に短い時間ではありましたが、人と人との繋がりや人の優しさや苦労話など笑いを交えながら非常に内容の濃い話を頂きました。私も以前、新本社長のお話を拝聴したことがあります、今回も非常に楽しかったです。その後、熊本ヤングクラブ・菅知三郎会長により食前感謝が行われ、熊本スピリットクラブ・紫垣会長が乾杯を行ったあとに歓談の時間へとうつりました。

歓談では、それぞれが盃を交わしながら和気藹々と交流を深め、会場に雰囲気は非常に良く楽しい時間を皆様が過ごす事が出来たのではないかと思います。歓談の途中に約20分という短い時間ではありますが、12テーブルそれぞれに別れてディスカッションがありました。席次も同じクラブが何人も一つのテーブルに座らないように考えて頂き、普段お話をする機会があまりない他クラブの方と交流を深めることの出来る非常に良い時間を与えて頂きました。ちなみに私のテーブルでは、1人ずつ自己紹介と抱負を述べて時間があっという間に過ぎました。ワイズの例会では「なごりはつきねど」という歌を最後に歌いますが、その歌の歌詞が新年早々「深いな～っ！」と心で感じました。来年も楽しみです！！！

最後になりますが、まだまだ入会して1年数ヶ月でありますので、知らないことや不慣れな部分が多くご迷惑をお掛けしますが、皆様本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

（EMC委員長 馬場淑之）





メネットコーナー

トタン屋根のケーキ屋さん

新春合同例会の卓話は、赤い自転車がトレードマークのパウンドケーキ屋さん・新本さん。

街で見かけた方もたくさんおられると思います。お名前が新本さん、店名が「ア・ラモート」。なんて上手いこと考えたのだろうと感心しました。(聞くところによると、『プリン・ア・ラ・モード』も、由来のひとつのようにです。)

驚くことに、自転車で会場まで行く許可がホテルから出ているそうです。卓話をお願いしたものの3名の入会式があり、とうとう卓話時間は20分になってしまい、少し気の毒に思いました。その短い時間のことでも冒頭で「普通1~2時間依頼されるが、20分と言われた」と笑われていました。

例会の前に、横田メンにワイズや例会のテーマについて聞かれたようです。ご自分の仕事のエピソードを混じえ、軽妙な語り口は、コメットの言うとおり『きみまろさん』のようでした。

新本さんは、赤い自転車の荷台にケーキを積み、阿蘇や菊池・天草・矢部・人吉と各方面に行かれているそうです。人吉への道中、おばあちゃんに呼び止められ、大根10本・らっきょ一瓶頂いた話や、注文された人吉のおばあちゃんとのやりとりの話は最高でした。自転車だからこそ呼び止められて立ち止まったり、多くの人とふれあい、ケーキと共に優しい心を届けられるのだと思いました。

卓話の後、ケーキの販売をしてもらいました。りんご・栗・くるみの3種でした。私も販売を手伝ったのですが、どれもおいしく、みなさん悩んで、複数買った人も多かったです。機械なしの手作業でケーキを焼き、自転車に乗って販売、それも遠くまで。ケーキも話も最高の時間でした。

(メネット会長 横田治美)



第二例会

1月16日（金）19:00 ながみねファミ-YMCA
出席:横田、菅、加藤、吉本、田上、東、三池、中村
メネット:横田、菅、大澤、加藤、 記録:田上
阿蘇:松村、藤本猪 中本 (サントリー)

1. 2月第一例会について

リーダー感謝会（10名程度予定）およびリーダー成人お祝い（2、3名成人予定）。クラブより成人祝いとして図書カード2,000円分を用意する。
鉢盛を用意し、ながみねYMCAで開催（会費1,000円）

内容・成人するリーダーのお祝い、リーダーとの交流、発表など

2. 防災プログラムについて

3月29日開催。1月31日、13:30より自治会役員等との打ち合わせ。子供会、自治会、防災クラブ、県立大学、日赤、消防、東区役所などと協力。
昨年、防災マップの作成→本年はこども防災隊の

設立防災訓練を予定。YMCAへの敷居を低くし、コミュニティを作る手段として柱にする。

3. EMCについて

1月例会で片山氏入会。今後、宮崎ワイズ推薦の方も予定されている。

*今後のEMCについての意見交換

- ・YMCAがどんな団体かが、YMCAがない地域には特に見えづらい
ない地域にサッカーや防災などイベントなどを取りかかりに活動を見せる
- ・大学のボランティアサークルなどからの発展
- ・こちらから他団体のイベントに参加し、会合に参加してもらう
- ・地域で育てる、家庭ぐるみの参加が出来る魅力を伝える
- ・ビアパーティー やクリスマスパーティーに呼ぶ
- ・最後は中にいる人間の魅力

(p 8に続く)

新入会員自己紹介



片山 隆 (かたやま たかし)

1月の新春合同例会で入会させて頂きました片山隆と申します。

ファイナンシャルプランナーの勉強会で岩本さんと知り合ったのがきっかけで、昨年、ビジターとして何度か例会に参加しました。メンバーの皆様が、世の中をよくしているという熱意にあふれていて、お話しするだけでも大変刺激を受けます。

私は、宮田総合法律事務所という弁護士事務所で勤務を開始して5年目になります。妻も同じ事務所で弁護士として勤務しています。

趣味はバドミントンです。最近は、昨年結婚式で行ったハワイがあまりに良すぎて、ハワイにはまり、下手なりにウクレレを弾いて過ごす毎日です。今後とも宜しくお願い致します。

(2015年1月入会 S P 岩本 哲)



「YMCA・ワイズの源流」の学び！ ⑯

新島 裕 (にいじま じょう)

1843年2月12日（天保14年1月14日）～1890（明治23）年1月23日

同志社創立者 キリスト教主義教育者。

江戸の神田にあった上州安中藩江戸屋敷で、安中藩士・新島民治の長男として生まれる。幼名七五三太（しめた）。

1857（安政4）年、元服後友人から貰い受けたアメリカの地図書から、アメリカの制度に触れ、憧れを持つようになる。その後築地の軍艦訓練所で数学、航海学を学ぶ。

ある日、漢訳聖書に出会い「福音が自由に教えられているアメリカに行くこと」を決意し、64年（元治1）年7月、21才のとき、函館から海外に脱出。ボストンに上陸。船主夫妻の好意により、高校に编入学。次いで、会衆派の教会で洗礼を受け、アーモスト大学、アンドリュー神学校に学んだ。

在学中の72年3月～73年9月、岩倉遣外使節に随行、アメリカ、ヨーロッパの学校教育制度の調査を担当した。74年9月24日、ボストンのマウント・ヴァーノン教会で按手礼を受け、アメリカン・ボードの宣教師補の資格で宣教師としての任命書を受ける。

この頃、日本においてキリスト教精神に基づく大学の設立を訴え、5千ドルの寄付の約束を得て10年4か月ぶりに帰国。最初に故郷の上州安中に向かい3週間滞在。その間にキリスト教の講演をし、30人の求道者が出て、聖書研究会が開かれた。明治11年に30人が新島襄から洗礼を受け、安中教会を設立した。明治8年11月29日、京都府顧問山本覚馬らの協力を得ながら同志社英学校を発足させた。

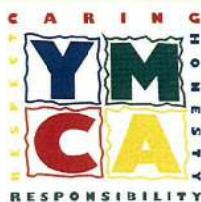
翌年山本の妹・八重子とキリスト教式の結婚式を挙げた。77年4月には女学校を開校。次いで87年11月には同志社病院、京都看護婦学校を開院・開校し、仙台にも同志社の分校として東華学校を開いた。

88年11月、「同志社大学設立の旨意」を全国に発表して国民の力を借りて私立同志社の設立を訴えたが、募金に東奔西走、健康を害して、神奈川県大磯で客死した。愛弟子の一人である不破唯次郎の妻にて、北里柴三郎の従妹であり、のちの京都大学病院初代看護婦長を務めた不破ユウ（北里ユウ）の渾身の看護を受けるが、回復せず1890（明治23）年1月23日、徳富蘇峰、小崎弘道らに10カ条の遺言を託して死去する。最期の言葉は「狼狽するなけれ、グッバイ、また会わん」。日本キリスト教教育事業の基礎を築き上げた功績は高く評価される。

「新島襄全集」（全10巻）、「新島襄書簡集」がある。



（文・企画 歌野清三）



Y M C A 通信

連絡主事 中村賢次郎

【チャリティプログラム報告】

国際協力青少年育成年末募金の一貫として、チャリティプログラムを行いました。ガレージセールやゲームコーナーなど子どもから大人まで楽しみながらチャリティに参加してもらいました。



【益城サッカーフェスティバル】

3月15日（日）益城町総合陸上競技場サッカー場にて、サッカーフェスティバルを実施します。子どもたちの元気な姿をぜひ応援よろしくお願ひします。

4月からは熊本YMCAが指定管理者として運営し、さらに地域の皆さんための活動を広げていきます。また4月26日にはワイズメンズクラブ九州部のプログラムも予定されています。



【防災プログラム】

ながみねファミリーYMCAと託麻南8町内自治会との共催防災プログラムが3月29日（日）に行われます。地域に根差した活動として、自治会の皆さんにも大変好評で、日赤、警察、消防に加え、県立大学の学生さんにも関わってもらうなど「ぼうさい」をテーマに、コミュニティづくり、まちづくりの形をつくりっています。皆様ぜひご参加ください。



良く生きる

阪神大震災20年～災害への備え

歌野 清三

阪神大震災から20年。節目にあたり、教訓を学び取りたい。

マグニチュード7.3の揺れは6434人の命を奪い、約25万棟の全半壊、死者の3／4が家屋や家具の転倒による圧死・窒息死でした。家屋に閉じ込められて助かった約16万4千人のうち、自力脱出が8割近い約12万9千人、家族や隣人、友人らに救出されたのが16.5%にあたる約27000人というデータがあります。「自助」「共助」が防災の基本であることがここに示されていることを心したいものです。バケツリレーで火災の拡大を食い止めたり、円滑な避難所の運営につながったケースです。

国内外から約138万人が手弁当でかけつけ、「ボランティア元年」と呼ばれ、NPO法人という言葉も認知されるようになりました。

阪神大震災の残した大きな財産であると思います。地域社会の大切さをあらためて痛感いたします。隣近所など、人ととのつながりが備えになると確信します。日頃の交流をどう維持していくのかも課題かもしれません。

大阪の木津川に架かる橋のたもとに、1854年発生の「安政南海地震」の慰霊碑があるそうです。石碑には津波によって多数の犠牲者を出した様子が細かく刻まれ、末尾は次のように書かれているそうです。

「願わくば心あらん人、年々文字よみ安きやう墨を入れたまふべし」

阪神大震災から20年、記憶が遠くなるにつれ、あの体験を風化させないように「自助」とともに、地域で助け合う「共助」は減災の大きな力となる。この阪神大震災が教訓を生かして、家庭や自治会、YMCAなどで地道な防災対策を積み重ねていきたいと考えます。私たちもあるの体験を風化させないように墨をいれるときではないでしょうか。

1 いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイスメン
絶えせず めあて望み この身を捧げつくさん

2 歌えば 心ひとつに ともがき ひろがりゆきて
遠きも近きもみな ささげて立つやワイスメン
栄えとほまれ豊か まことは胸にあふれん

なごりはつきねど つどいは果てぬ
きょうひとひのさち しづかに思う

2月以降の予定

- 2月2日(月) TOF (Time of Fast) 例会
19:00 ながみねファミリーYMCA
- 2月13日(金) 年末募金評価会&感謝会
19:00 中央YMCA
- 2月14日(土) 鹿児島クラブ25周年記念例会
- 2月16日(月) 第二例会
19:00 ながみねファミリーYMCA
- 3月3日(月) 第一例会
- 3月14日(土) 第二例会
19:15 ながみねファミリーYMCA
- 3月15日(日) YMCAチビッコサッカー大会
9:00 益城運動公園
- 3月24日(火) 熊本連絡会議
19:00 中央YMCA
- 3月29日(日) 防災フェア
ながみねファミリーYMCA
- 4月26日(日) 九州部第1回チャリティ駅伝大会
8:30～12:30 益城町総合運動公園

第二例会

p 5からの続き

- 4. YMCA年末募金活動について
1月13日現在 目標額1,500万円のところ→1,300万円。今後1,400万円には近づく見通し。
ながみねは目標が大きいこともあり、60%強の到達率。ながみね、子どもの募資金数が一番多い。
- ・YMCAのためならやってくれる人の発掘
- ・YMCAのOBへのアプローチを考える。
- ・寄付金を募るのに、郵便物などを同窓会のように発送してはどうか
- ・集金に出向く・寄付文化の醸成・たかんぼの継続
- 5. 九州部チャリティラン担当者不在なので、次回取扱。
- 6. 鹿児島クラブ25周年記念例会
参加者・菅正康・美代子、平山俊生・美保、宮崎隆二。
お祝い金2万円。<承認>
- 7. 来年合同新春例会
次期会長が他クラブと確認する。ひがしクラブとしては参加する方向。
- ・第一例会会場を検討する件
他会場の見積もりを取る。



熊本市花岡山の梅

1月30日早朝 熊本YMCA中島節子さん撮影

ハッピーバースディ&アニバーサリ

2月バースディ

- | | |
|-----------|-----------|
| 17日 横田 博 | 18日 中村賢次郎 |
| 23日 宮崎 隆二 | 27日 塩谷 康宏 |
| 28日 大澤 玲子 | |

2月アニバーサリ

- 4日 歌野清三・堀原園江